

ありがとう

清音小学校だより



No.11

令和7年10月20日
校長 藤本千登世



「ふるさとを愛する」ことのできる人に

10月の品格教育の目標「ふるさと愛」とはふるさとを大切に思う気持ちですが、子ども達はどんなことができるか、朝礼で2つ話しました。

①ごみを捨てたりせず美しい総社の環境を守ること

清音小には5年生のお友達が「ごみ拾い応援隊」をつくり、昨年から清音のごみをずっと拾い続けています。その人達が夏休みにごみ拾いの活動についてまとめたものを3年教室の隣の掲示板に



ごみ拾い応援隊

張ってあります。どんなごみがどこに多いか調べるだけでなく、「きよね夢てらす」などの施設に手作りのポスターを掲示してもらうようお願いして歩いたのです。始業式で話した「**自分で考えて行う**」ことができています。続けているのもすばらしいことです。ありがとうございます。



ポスター貼ってください

②地域の人との心の触れ合いを大切にすること

人の温かさや、やさしさ、礼儀正しさ。笑顔で挨拶を交わすなどの人とのふれあいが大切だと思います。笑顔には、自分と周りの人も幸せにするたくさんの力があります。清音小のみなさんの笑顔の力で「校長先生絶好調」です！

みなさん、学校だけでなく地域の方にも笑顔で挨拶ができていますか？清音小には、登下校の見守りボランティアをしてくださっている方がたくさんおられます。暑い日も雨の日も毎日、みなさんの安全のために登下校を見守ってくださっていますね。当たり前ではありません。本当にありがたいことです。ボランティアの方々は、「みなさんの笑顔や挨拶で元気をもらっています」と言われています。**挨拶で感謝の気持ちを伝えましょう。**

みなさんの笑顔とあいさつの力で、ふるさと総社、ふるさと清音をもっと素敵なまちにしていきましょう。



海で成長してきました(5年)



10月15・16日、5年生は渋川青年の家での海事研修に行ってきました。よい天候に恵まれ、子ども達は友達と仲良く助け合い、励まし合いながら頑張りました。海の学習といえばカッター訓練。一人一人が根限り頑張り、力と声を合わせることでカッターはぐんぐんと進みました。さすが本校の5年生は頼もしいです。

また、砂で造形作品を作る「砂の芸術」・「地引網」・「貝殻のキーホルダーづくり」に取り組み、思い出を作ることができました。この2日間、学校では学ぶことのできない貴重な体験をし、友情を深めることができました。挨拶や返事、部屋の片付けはどの学校よりもすばらしかったそうです。この経験を学校生活でも生かし、さらに最高学年に向けて力をつけてほしいと思います。



美しい自然の中で



はきはきと学校紹介